

日本学術会議 薬学委員会
第 24 期・第 3 回 化学・物理系薬学分科会
議事要旨

日時 平成 30 年 6 月 21 日(木) 15:00~16:45

場所 日本学術会議 2 階 大会議室

出席者 嶋田委員長、永次副委員長、佐治幹事、樋口幹事、井上委員、内山委員、
尾野村委員、加藤委員、上村委員、寺田委員（ウェブ参加）、徳山委員、山縣委員

欠席者 齋藤委員、長野委員、真鍋委員

陪席 日本学術会議事務局

配布資料 第 24 期・第 2 回薬学委員会 化学・物理系薬学分科会 議事録
資料 1：シンポジウムプログラム案、資料 2：シンポジウムの案内案、
資料 3：講演会、シンポジウム等主催提案書案、資料 4：学会誌等への会告案

議事

(1) 議題に入る前に前回まで分科会に欠席され今回出席された先生より自己紹介が行われた。

(2) 前回の議事要旨の確認が行われた。

(3) 主催シンポジウムについて以下のように話し合われた。

(i) シンポジウムプログラム案（資料 1）に関して

- ・ 第 2 回分科会では未定だった中性子線に関する講演者のうちの 1 名は、加藤委員の推薦と依頼により片岡幹雄先生（総合科学機構）に引き受けていただけることとなった。その結果、資料 1 の 5 名の講師による講演が確定した。
- ・ 日程に関しては可能性のあった 2 日のうち、11 月 21 日(水)に決定した。
- ・ 講演タイトルについては、各講師に他の講師のタイトルを知らせた上で、このままでよいかどうか確認いただき、場合によっては改訂いただく（講師に依頼をしていただいた委員）。
- ・ 本シンポジウムは、日本薬学会の共催に加えて、結晶学分科会のみならず生物系薬学分科会も相乗りしていることをどのように配慮するかについて議論した。その結果、
開会の挨拶：嶋田委員長、奥会頭（日本薬学会）、土井先生（生物系薬学分科会）の 3 名
閉会の挨拶：菅原先生（結晶学分科会）
とすることとした。それに伴い、土井先生に出席可能かどうかを確認することとした（井上委員ご担当）。菅原先生がご出席可能であることは確認済みである（上村委員）。
- ・ シンポジウムタイトルについて議論した。原案の「医薬品開発の加速化」は、治験の部分の加速化を連想させるのではないかと、という意見から、「創薬加速化」の方がよいのではないかと、

という案が出た。また、「構造生物学的手法」がわかりにくいのではないかという意見があったことを受け、「構造生物学」でよいのではないかという案が出た。これらを総合し、「創薬加速化を担う構造生物学の最前線」というタイトルにまとめた。

- ・ 座長については、講師に依頼した委員が相応しいと考え、以下のように決定した。
前半部：井上委員、上村委員 後半部：加藤委員、真鍋委員
- ・ AMED に後援の依頼をして（井上委員）、了承が得られた後、後援に入れる。
- ・ その他、一部の誤りや語句の修正をした上で決定版とし、日本薬学会に提出することとした（嶋田委員長）。

(ii) 資料 2 について

委員リストに生物系薬学分科会のものも加える（井上委員）。

(iii) 資料 3 について

- ・ 共催に生物系薬学分科会を加える。
- ・ プログラムに座長等を加える。
- ・ 「第二部承認」という文言は必要であり、加えておく。

(4) シンポジウムの広報について

- ・ ポスターのデザイン・作成： 日本薬学会から 5 万円程度の資金を得た上で、デザイン・作成を行う（嶋田委員長）。
- ・ ポスターの送付先のリスト入手と送付：東京大学の事務の持つ大学リストを得て行う（嶋田委員長）。送付は 10 月初めぐらいが適切と考えられる。
- ・ ファルマシアへの掲載： 10 月号掲載を行うために 8 月までにファルマシアに掲載を申請（井上委員）。
- ・ 日本薬学会医薬化学部会への周知、ニュースレター（季刊）への掲載依頼（樋口委員）
- ・ 製薬協への情報提供（上村委員）
- ・ 日本薬学会生物部会への周知（井上委員）

(5) シンポジウム当日（一部事前）の対応

- ・ 受付での講師への旅費のお渡しの準備（旅費は講師の所属大学の定めた額）（嶋田委員長）
- ・ 講師のお弁当（業者は日本学術会議事務局からうかがう）の手配（講師の弁当代は薬学会からの予算の残りでまかなう）（嶋田委員長）
- ・ 講師に 12:00 からお弁当を用意した昼食懇談会があることを事前に伝える（講演を依頼した各委員）。
- ・ 手伝いをおこなってもらえる学生の同伴（嶋田委員長）
- ・ 講師の発表に際しては、PC を持参しそれを用いること、及び PC をこちら側で用意し USB

メモリーに発表データを入れたものを用いて発表を行う（前者の方が望ましいか） こととする。また、講師へプログラム、発表の仕方（PC 持参か、USB か）、昼食の有無を連絡する（講師に依頼をしていただいた委員）。PC の用意（事務局）。

（6）次回の分科会については、シンポジウム当日である 11 月 21 日(水) 11：30～12：30 に開催することに決定した。